

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3183124号
(U3183124)

(45) 発行日 平成25年4月25日 (2013. 4. 25)

(24) 登録日 平成25年4月3日 (2013. 4. 3)

(51) Int.Cl.

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

F 1

A 4 1 B 13/02

R

評価書の請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 実願2013-758 (U2013-758)
(22) 出願日 平成25年2月14日 (2013. 2. 14)(73) 実用新案権者 508262168
小川 和代
東京都江東区東陽5丁目2番1号
(74) 代理人 100110434
弁理士 佐藤 勝
(74) 代理人 100117547
弁理士 須田 浩史
(72) 考案者 小川 和代
東京都江東区東陽5丁目2番1号

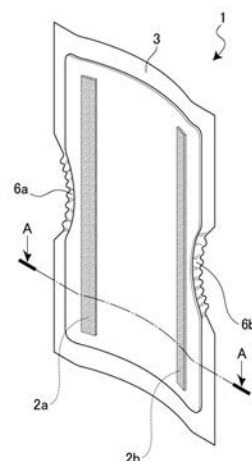
(54) 【考案の名称】尿取りパッド

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】簡易且つ迅速に装着でき、快適に使用できる尿取りパッドを提供する。

【解決手段】この尿取りパッド1は、シート状の吸収性部材と、吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、を備え、吸収性部材の長手方向の端部近傍において該長手方向に延出するように凸状の少なくとも2本の漏れ防止部2a, 2bを設ける。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

シート状の吸収性部材と、
上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、
を備え、
上記吸収性部材の長手方向の端部近傍において該長手方向に延出するように凸状の少なくとも 2 本の漏れ防止部を設けたこと
を特徴とする尿取りパッド。

【請求項 2】

上記吸収性部材の他方の面には液透過性部材からなるトップシートが貼り付けられていること
を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。 10

【請求項 3】

上記バックシートの中央より前面側の領域には、所定長の粘着テープが設けられていること
を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

【請求項 4】

上記バックシートの長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ系ゴム入りのギャザーが設けられていること
を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。 20

【請求項 5】

上記漏れ防止部はその平面形状が長方形であること
を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の尿取りパッド。

【請求項 6】

上記漏れ防止部は 2 本であり、各平面形状が、延出された 2 本の漏れ防止部の内側で対向する辺が曲線となり、外側の辺が直線となっていること
を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の尿取りパッド

【請求項 7】

上記漏れ防止部は 2 本であり、各平面形状が、外側の辺が直線であり、内側の辺が、中央部において一の漏れ防止部と他の漏れ防止部との間隔が一番大きく、中央部からそれぞれ先端部、後端部にゆくにつれて徐々に当該間隔が狭くなっていくような曲線となっていること
を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の尿取りパッド。 30

【請求項 8】

上記漏れ防止部は、他の部材と色が変わえられていること
を特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の尿取りパッド。

【請求項 9】

上記漏れ防止部は、所定の厚みを有すること
を特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の尿取りパッド。

【請求項 10】

シート状の吸収性部材と、
上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、
上記吸収性部材の他方の面に貼り付けられた液透過性部材からなるトップシートと、
を備え、
上記吸収性部材の長手方向の端部近傍において、該長手方向に延出するように、凸状の所定の厚みを有する 2 本の漏れ防止部が設けられており、
上記 2 本の漏れ防止部は併設されており、各平面形状が、外側の辺が直線であり、内側の辺が、中央部において一の漏れ防止部と他の漏れ防止部との間隔が一番大きく、中央部からそれぞれ先端部、後端部にゆくにつれて徐々に当該間隔が狭くなっていくような曲線となっており、上記トップシートのうち、上記漏れ防止部を被覆する部分には着色がなさ 40 50

れていること

を特徴とする尿取りパッド。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、例えば紙おむつ等の中に重ねて装着する尿取りパッドに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、成人用の使い捨ておむつと併せて、尿取りパッドが広く使われている。このような尿取りパッドは、尿を効率良く吸収することができ、排尿の度に当該尿取りパッドだけを交換すればよいので、経済的負担を軽減することができ、しかも衛生状態を保つことができる。

10

【0003】

ここで、例えば、特許文献1では、両側部に撥水性サイドシートにより表面側に起立するギャザーが形成された尿取りパッドが開示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】実用新案登録第3078455号公報

【考案の概要】

20

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特許文献1に開示された尿取りパッドでは、撥水性サイドシートが表面側に起立するような構成となっているため、構成が複雑であり、サイドシート自体には吸水性がないことから、十分に横漏れを防止することができず、装着者に快適な使用感を与えることが十分にできない。

【0006】

そこで、本考案は上述した技術的な課題に鑑みてなされたもので、簡易且つ迅速に装着することができ、尿漏れを防止することで、装着者に快適な使用感を与える尿取りパッドを提供することを目的とする。

30

【課題を解決するための手段】

【0007】

上述したような技術的な課題を解決するため、本考案の一つの態様に係る尿取りパッドは、シート状の吸収性部材と、上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、を備え、上記吸収性部材の長手方向の端部近傍において該長手方向に延出するように凸状の少なくとも2本の漏れ防止部を設けたことを特徴とする尿取りパッドが提供される。

【0008】

本考案の他の態様に係る尿取りパッドは、シート状の吸収性部材と、上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、上記吸収性部材の他方の面に貼り付けられた液透過性部材からなるトップシートと、を備え、上記吸収性部材の長手方向の端部近傍において、該長手方向に延出するように、凸状の所定の厚みを有する2本の漏れ防止部が設けられており、上記2本の漏れ防止部は併設されており、各平面形状が、外側の辺が直線であり、内側の辺が、中央部において一の漏れ防止部と他の漏れ防止部との間隔が一番大きく、中央部からそれぞれ先端部、後端部にゆくにつれて徐々に当該間隔が狭くなっていくような曲線となっており、上記トップシートのうち、上記漏れ防止部を被覆する部分には着色がなされていることを特徴とする。

40

【考案の効果】

【0009】

本考案によれば、簡易且つ迅速に装着することができ、尿漏れを防止することで、装着

50

者に快適な使用感を与える尿取りパッドを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの斜視図である。

【図2】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの斜視図である。

【図3】本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの断面図である。

【図4】本考案の第2の実施形態に係る尿取りパッドの斜視図である。

【図5】本考案の第2の実施形態に係る尿取りパッドの斜視図である。

【図6】本考案の第2の実施形態に係る尿取りパッドの断面図である。

【考案を実施するための形態】

10

【0011】

以下、本考案の尿取りパッドに係る好適な実施形態について図面を参照しながら説明する。なお、本考案の尿取りパッドは、以下の記述に限定されるものではなく、本考案の要旨を逸脱しない範囲において、適宜変更可能である。

【0012】

(第1の実施形態)

図1には本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの斜視図を示し、図2には当該尿取りパッドを折り畳む状態の斜視図を示し、図3には本考案の第1の実施形態に係る尿取りパッドの一部断面図(図1のA-A線断面図)を示し、説明する。

【0013】

20

図1乃至図3に示されるように、この実施形態に係る尿取りパッド1は、シート状の吸収性部材2からなり、当該吸収性部材2の一方の面(装着時に内表面に相当)にはトップシート3が、他方の面(装着時に外表面に相当)にはバックシート4が、貼り付けられている。即ち、この尿取りパッド1は、トップシート3、吸収性部材2、バックシート4の積層体からなる。但し、吸収性部材2の単層、或いは吸収性部材2とバックシート4との複層としてもよいことは勿論である。

【0014】

吸収性部材2の表面(尿取りパッド1の内側)には、その長手方向の両端に沿って延出した平面形状が長方形の2本の凸状の漏れ防止部2a, 2bが設けられている。この漏れ防止部2a, 2bは、吸収性部材2と同じ素材であってよく、成形加工、あるいは別途構成されたものを吸収性部材2に積層する等、種々の方法で吸収性部材2と一体に形成することができる。この例では、漏れ防止部2a, 2bの短手方向の幅は約2cm、厚さ(高さ)は0.5~0.7mmであってよいが、これに限定されるものではない。また、漏れ防止部2a, 2bを、他の部位と色を変えて着色してもよい。

30

【0015】

吸収性部材2としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材2は、複層のマット状でもよい。複層の場合、漏れ防止部材2a, 2bが複層のうちの一層であってよい。

【0016】

40

トップシート3は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものをを用いることができる。漏れ防止部材2a, 2bの被覆面だけ着色してもよい。

【0017】

そして、バックシート4は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0018】

尿取りパッド1は、その長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ系ゴム入りの

50

ギャザー 6 a , 6 b が設けられており、装着感を高めている。尚、尿取りパッド 1 は、この例では、長手方向に約 50 ~ 60 cm、短手方向に約 30 ~ 35 cm の略矩形状となっているが、これには限定されないことは勿論である。

【0019】

尿取りパッド 1 のバックシート 4 の中央より前面側の領域には、粘着テープ 5 が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 1 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。粘着テープ 5 としては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用することができ、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。また、粘着テープ 5 の数は 1 つに限定されず複数でもよいことは勿論である。

10

【0020】

以上説明したように、本考案の第 1 の実施形態によれば、シート状の吸収性部材 2 と該吸収性部材 2 の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシート 4 とを備え、吸収性部材 2 の長手方向の端部近傍において該長手方向に延出するように凸状の少なくとも 2 本の漏れ防止部 2 a , 2 b を設けたことを特徴とする尿取りパッドが提供されることになる。

【0021】

ここで、吸収性部材 2 の他方の面には液透過性部材からなるトップシート 3 が貼り付けられていてよい。バックシート 4 の中央より前面側の領域には、所定長の粘着テープ 5 が設けられていてよい。バックシート 4 の長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ

20

【0022】

従って、本実施形態によれば、漏れ防止部 2 a , 2 b によりサイドからの尿漏れを効果的に防止することが可能となる。

【0023】

(第 2 の実施形態)

図 4 には本考案の第 2 の実施形態に係る尿取りパッドの斜視図を示し、図 5 には当該尿取りパッドを折り畳む状態の斜視図を示し、図 6 には本考案の第 2 の実施形態に係る尿取りパッドの一部断面図 (図 4 の B B 線断面図) を示し、説明する。

30

【0024】

図 4 乃至図 6 に示されるように、この第 2 の実施形態に係る尿取りパッド 11 は、シート状の吸収性部材 12 からなり、当該吸収性部材 12 の一方の面 (装着時に内表面に相当) にはトップシート 13 が、他方の面 (装着時に外表面に相当) にはバックシート 14 が貼り付けられている。すなわち、この尿取りパッド 11 は、トップシート 13、吸収性部材 12、バックシート 14 の積層体からなる。但し、吸収性部材 12 の単層、或いは吸収性部材 12 とバックシート 14 との複層としてもよい。

【0025】

吸収性部材 12 の表面には、その長手方向の両端に沿って延出した 2 本の凸状の漏れ防止部 12 a , 12 b が設けられている。この漏れ防止部 12 a , 12 b は、吸収性部材 12 と同じ素材であってよく、成形加工、あるいは別途構成されたものを吸収性部材 12 に積層する等、種々の方法で吸収性部材 12 と一体に形成することができる。

40

【0026】

漏れ防止部 12 a , 12 b は、その平面形状が、2 本の漏れ防止部 12 a , 12 b の内側で対向する辺が曲線となっており、外側の辺は直線となっている。即ち、2 本の対向する漏れ防止部 12 a , 12 b は、その内側の辺が、中央部において漏れ防止部 12 a と漏れ防止部 12 b との間隔が一番大きく、中央部から先端部、後端部にゆくにつれて徐々に当該間隔が狭くなっていくような曲線となっている。これにより、漏れ防止部 12 a , 12 b により囲まれた領域は、その先端部、後端部において、間隔が狭くなっている。

【0027】

50

漏れ防止部 12 a , 12 b それぞれの形状について言及すると、長手方向に延出しており、外側の辺は直線、内側の辺は曲線となっており、中央部において最も幅が狭く、中央から先端部、後端部にゆくにつれて幅が徐々に広くなるような形状とされている。そして内側の角は丸められていてよい。

【0028】

なお、この例では、漏れ防止部 12 a , 2 b の短手方向の幅は最も狭いところで約 2 cm、最も広いところで約 3 ~ 4 cm となっている。厚さ（高さ）は 0.5 ~ 0.7 mm であってよい。但し、これらに限定されるものではない。また、漏れ防止部を、他の部位と色を変えて着色してもよい。

【0029】

吸収性部材 12 としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材 2 は、複層のマット状でもよい。複層の場合、漏れ防止部材 12 a , 12 b が複層のうちの一層であってよい。

【0030】

トップシート 13 は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものをを用いることができる。トップシート 13 の漏れ防止部 12 a , 12 b を被覆する部分のみを他と別の色で着色してもよい。

【0031】

そして、バックシート 14 は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0032】

尿取りパッド 11 は、その長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザー 16 a , 16 b が設けられており、装着感を高めている。なお、尿取りパッド 11 は、この例では、長手方向に約 50 ~ 60 cm、短手方向に約 30 ~ 35 cm の略矩形形状となっているが、これには限定されないことは勿論である。

【0033】

尿取りパッド 11 のバックシート 14 の中央より前面側の領域には、粘着テープ 15 が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 11 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープ 15 としては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用することができ、使用前には粘着力低下を防止する為に粘着部分を保護しておいてよい。また、粘着テープ 15 の数は 1 つに限定されず複数でもよいことは勿論である。

【0034】

以上説明したように、本考案の第 2 の実施形態によれば、シート状の吸収性部材 12 と吸収性部材 12 の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシート 14 とを備え、吸収性部材 12 の長手方向の端部近傍において該長手方向に延出するように凸状の 2 本の漏れ防止部 12 a , 12 b を設けたことを特徴とする尿取りパッドが提供されることになる。この漏れ防止部 12 a , 12 b は、その平面形状が、2 本の漏れ防止部 12 a , 12 b の内側で対向する辺が曲線となり、外側の辺は直線となつてよい。

【0035】

即ち、2 本の対向する漏れ防止部 12 a , 12 b は、その平面形状が、外側の辺が直線であり、内側の辺が、中央部において漏れ防止部 12 a と漏れ防止部 12 b との間隔が一番大きく、中央部から先端部、後端部にゆくにつれて徐々に当該間隔が狭くなっていくような曲線となつていてよい。

【0036】

つまり、本考案の第 2 の実施形態によれば、シート状の吸収性部材 12 と、上記吸収性

10

20

30

40

50

部材 1 2 の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシート 1 4 と、上記吸収性部材 1 2 の他方の面に貼り付けられた液透過性部材からなるトップシート 1 3 とを備え、上記吸収性部材 1 2 の長手方向の端部近傍において、該長手方向に延出するように、凸状の所定の厚みを有する 2 本の漏れ防止部 1 2 a , 1 2 b が設けられており、上記 2 本の漏れ防止部 1 2 a , 1 2 b は併設されており、各平面形状が、外側の辺が直線であり、内側の辺が、中央部において一の漏れ防止部と他の漏れ防止部との間隔が一番大きく、中央部からそれぞれ先端部、後端部にゆくにつれて徐々に当該間隔が狭くなっていくような曲線となっており、上記トップシート 1 3 のうち、上記漏れ防止部 1 2 a , 1 2 b を被覆する部分には着色がなされていることを特徴とする尿取りパッド 1 1 が提供される。

【 0 0 3 7 】

10

従って、第 2 の実施形態によれば、漏れ防止部 1 2 a , 1 2 b により、再度からの尿漏れを効果的に防止することが可能となる。特に、この第 2 の実施形態では、漏れ防止部 1 2 a , 1 2 b の内側の曲線により、尿を包み込むように吸収することが可能となる。

【 0 0 3 8 】

以上、本考案の実施形態について説明したが、本考案はこれに限定されることなく、その主旨を逸脱しない範囲で種々の改良・変更が可能である。漏れ防止部の形状は前述したものには限定されず、種々の形状を採用することができ、例えば内側の辺のみならず外側の辺も曲線となる、全体として所定の曲率で湾曲したような平面形状の漏れ防止部とすることも可能である。また、楕円形状のリング状に漏れ防止部を構成し、サイドのみならずトップ、エンドからも漏れが生じないように工夫することも可能である。

20

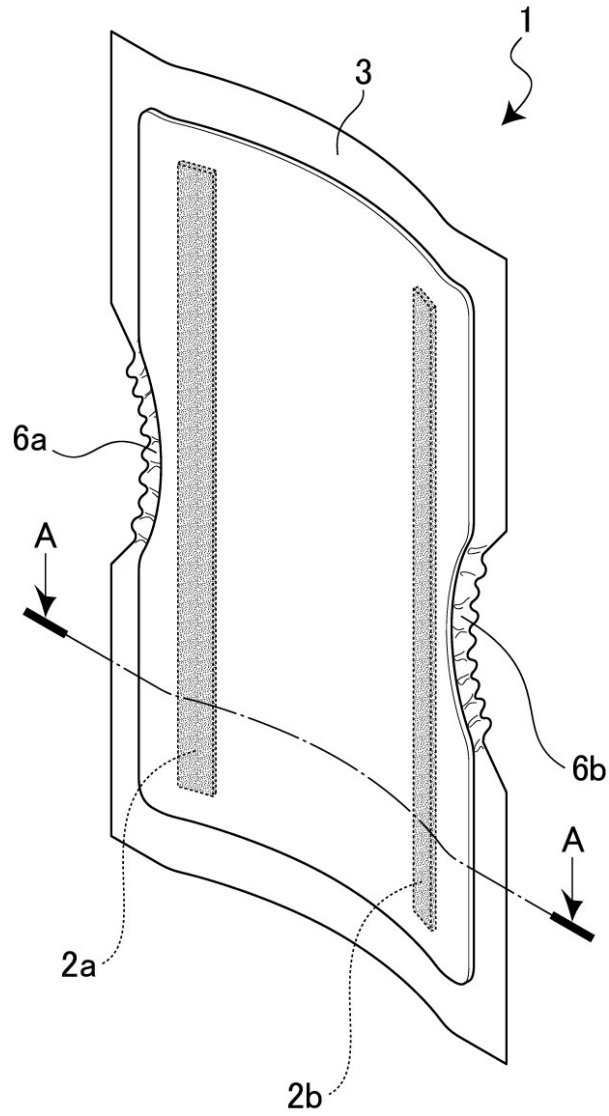
【 符号の説明 】

【 0 0 3 9 】

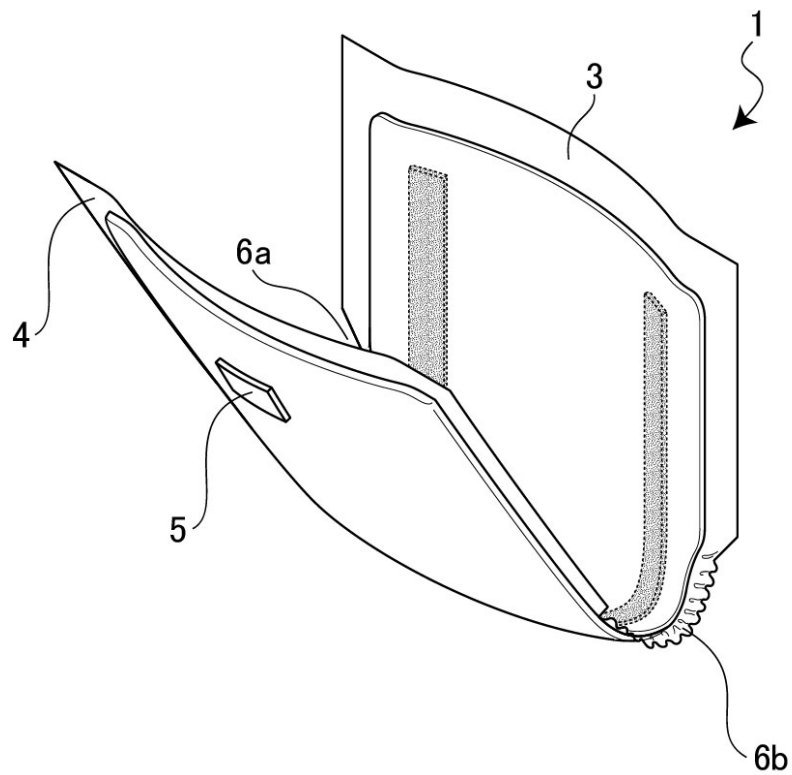
- 1 尿取りパッド
- 2 吸収性部材
- 2 a , 2 b 漏れ防止部
- 3 トップシート
- 4 バックシート
- 5 粘着テープ
- 6 a , 6 b ギャザー
- 1 1 尿取りパッド
- 1 2 吸収性部材
- 1 2 a , 2 b 漏れ防止部
- 1 3 トップシート
- 1 4 バックシート
- 1 5 粘着テープ
- 1 6 a , 6 b ギャザー

30

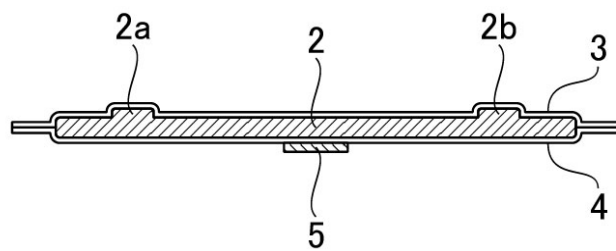
【図 1】



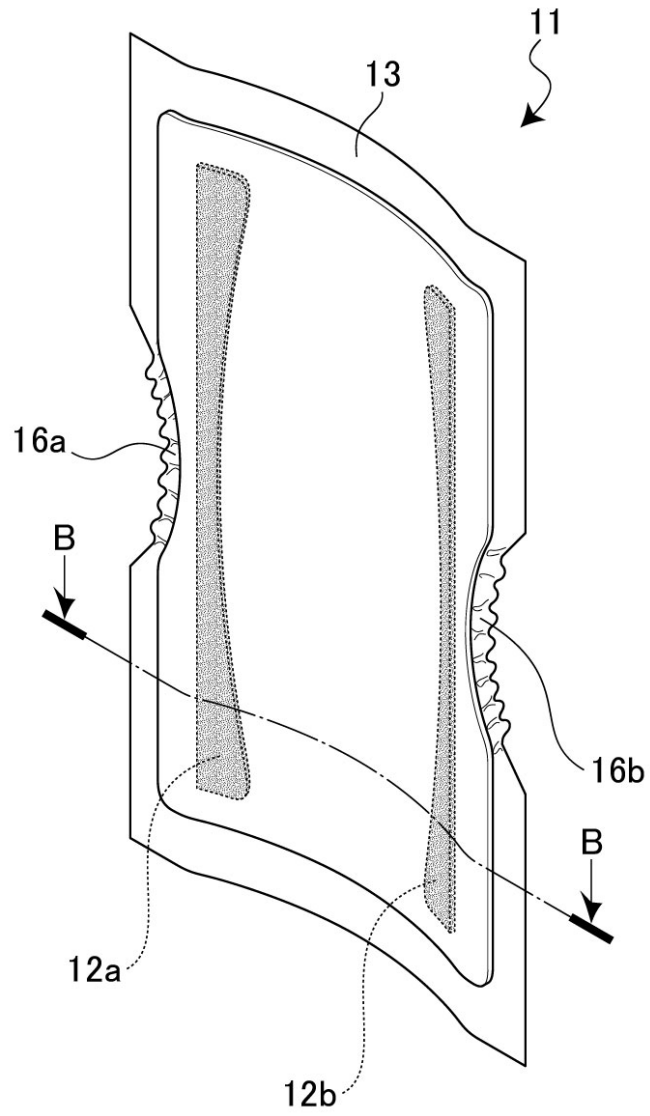
【図 2】



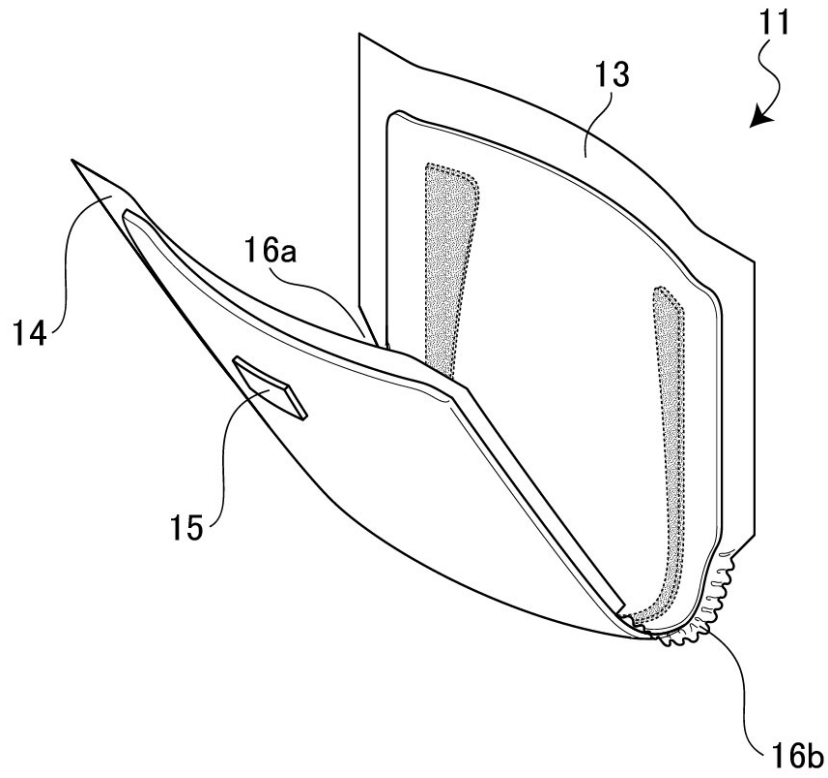
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

